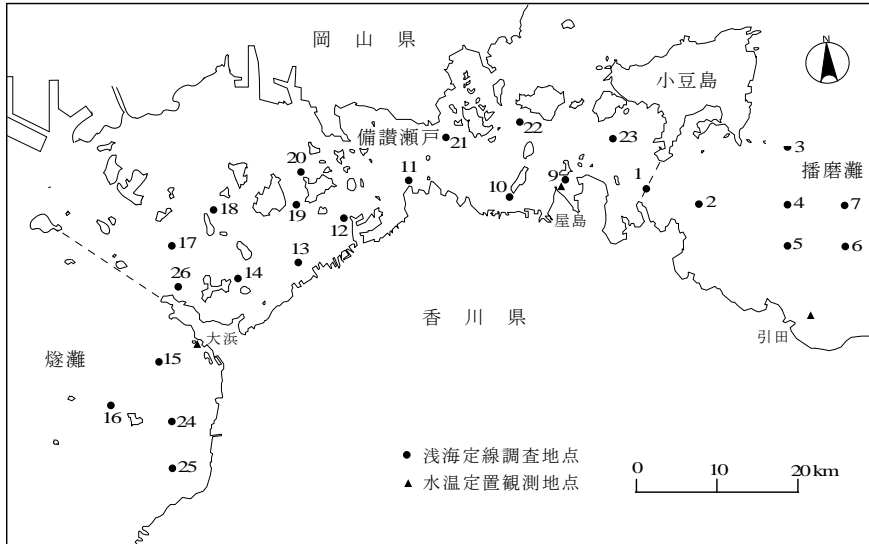


香川県漁海況情報 平成 28 年 7 月 (H28-4 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 28 年 6 月 30 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 7 月 1 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」から「やや高め」、塩分は「かなり低め」から「やや低め」、透明度は「やや低め」から「やや高め」、溶存酸素は「かなり低め」から「やや高め」であった。

7月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	23.1	21.6	20.1	30.4	31.2	31.9	11.0	4.67	3.74
	平年値	22.3	20.7	18.7	31.7	31.9	32.2	8.0	5.09	3.91
	平年偏差	0.8	0.9	1.5	-1.3	-0.7	-0.3	3.0	-0.42	-0.17
	標準偏差(σ)	1.3	0.9	1.3	0.7	0.5	0.4	2.8	0.43	0.61
	状況	平年並み	やや高め	やや高め	かなり低め	かなり低め	やや低め	やや高め	やや低め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	21.9	21.5	21.3	30.8	31.2	31.4	6.0	4.67	4.34
	平年値	21.7	21.1	20.8	31.8	32.0	32.1	4.3	4.64	4.40
	平年偏差	0.2	0.5	0.6	-1.0	-0.8	-0.7	1.7	0.04	-0.07
	標準偏差(σ)	1.3	1.2	1.4	0.9	0.7	0.7	1.4	0.42	0.33
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	23.5	21.5	19.7	30.5	32.0	32.6	6.3	5.55	2.84
	平年値	23.7	21.0	19.3	31.6	32.6	32.9	9.6	5.19	3.82
	平年偏差	-0.2	0.5	0.4	-1.1	-0.6	-0.3	-3.3	0.37	-0.99
	標準偏差(σ)	1.7	1.5	2.1	1.0	0.5	0.4	3.8	0.47	0.57
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	かなり低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 56 年 (1981) 1 月～平成 22 年 (2010) 12 月

溶存酸素：昭和 56 年 (1981) 2 月～平成 22 年 (2010) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

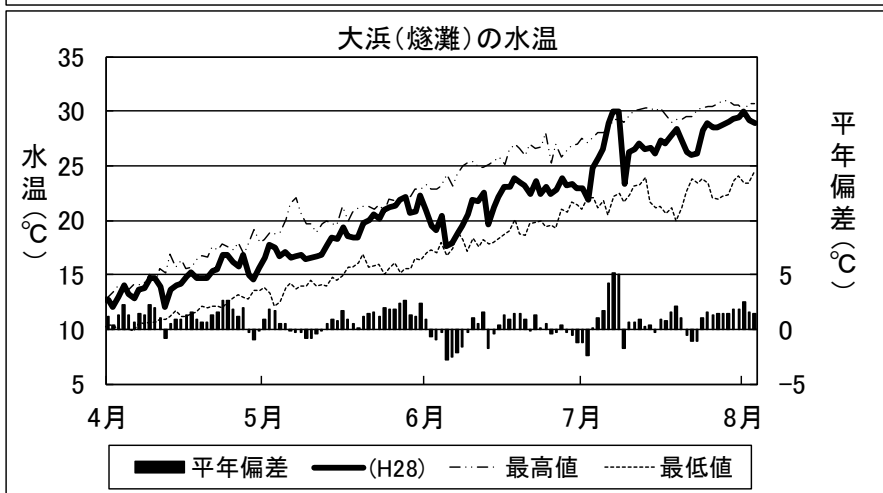
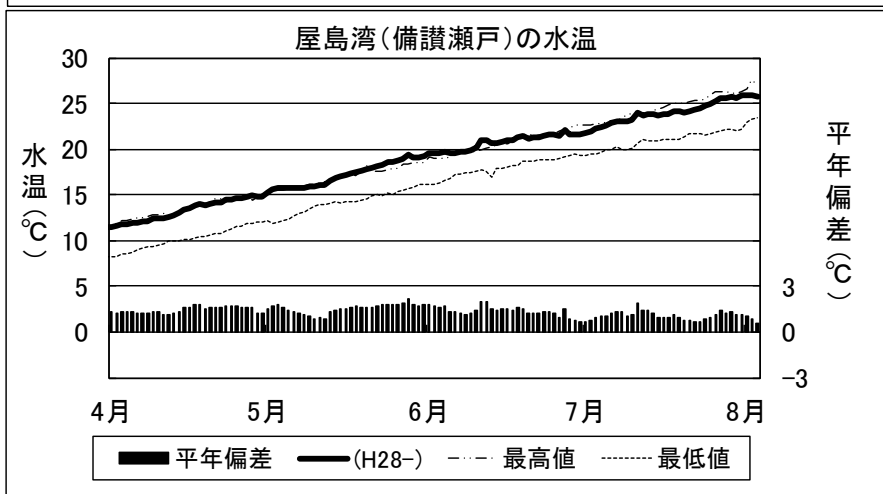
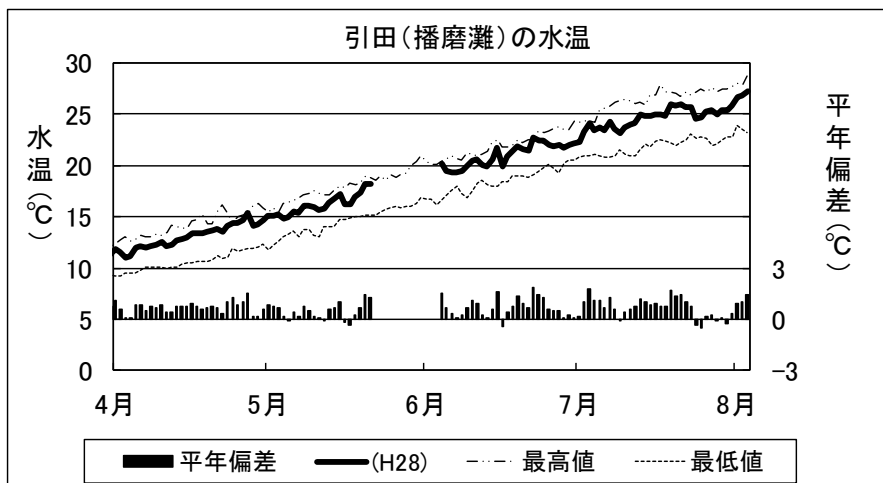
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 4月はやや高め, 5月は平年並みからやや高め, 6月は平年並みから著しく高め, 7月は概ね平年並みで推移している。(6月下旬に1日, 過去最高値を更新。) 機器の故障により, 5月22日から6月3日は欠測。

備讃瀬戸 (屋島) : 4から6月はかなり高めから著しく高め, 7月はやや高めからかなり高めで推移している。(4月中旬に4日, 下旬に2日, 5月に18日, 6月に19日, 7月は1日, 過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 4月はやや高めか著しく高め, 5月は平年並みからかなり高め, 6月は平年並みからやや低め, 7月は平年並みからやや高めで推移している。(4月上旬に2日, 5月下旬に2日, 7月上旬に3日, 過去最高値を更新。6月上旬に1日, 7月上旬に1日, 過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 27 (2015) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 27 (2015) 年



4) 赤潮 (7月1日～7月31日)

播磨灘：7月27日に播磨灘南西部において、着色域は明確ではないが *Chattonella* が *Chattonella ovata* を主体として高密度に出現した。

7月27日～、志度湾で *Karenia mikimotoi* による赤潮が確認された。

備讃瀬戸：7月26日～、屋島湾で *Karenia mikimotoi* による赤潮が確認された。

燧灘：7月26日～27日に燧灘東部において、着色域は明確ではないが *Chattonella* が *Chattonella ovata* を主体として高密度に出現した。

* *Chattonella* 属については、明確な着色域が確認されない場合でも、100 cells/mL以上で有害種のブルームによる赤潮として扱っています。

5) 卵稚仔

調査日：平成28年6月30日(備讃瀬戸, 燧灘), 7月1日(播磨灘)

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	120.4	12.8	0.0	0.0	15.0	22.9
	平年値	39.9	5.5	0.0	0.0		
	対平年(%)	301.9	231.3	-	-		
備讃瀬戸	平均値	20.4	0.5	0.0	0.0	9.1	1.4
	平年値	2.5	0.5	0.0	0.0		
	対平年(%)	811.2	106.5	-	-		
燧灘	平均値	67.3	4.1	0.0	0.0	32.7	1.4
	平年値	19.4	2.9	0.0	0.0		
	対平年(%)	346.0	140.5	-	-		
総平均	平均値	58.0	4.6	0.0	0.0	16.2	7.1
	平年値	16.4	2.4	0.0	0.0		
	対平年(%)	353.7	192.7	-	-		

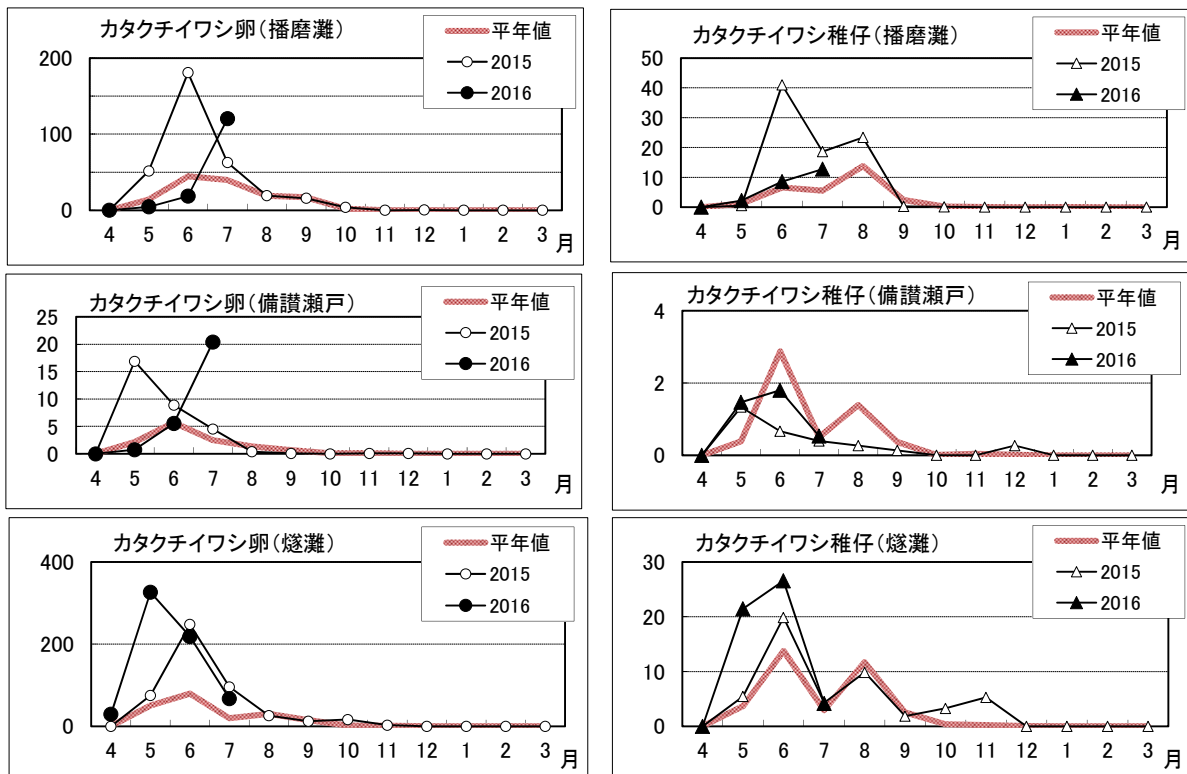
—：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成27(2015)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成27(2015)年度

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。



2. 漁況

1) 6月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、スズキ、アカカマス、イボダイ、クロダイ、マコガレイ、ハモ、シログチ、マダイ、マルアジ、マダコ、テナガダコ、ベイカ、小エビ類、クルマエビなどが漁獲されている。</p> <p>柵網では、マアジ、マルアジ、ツバス、カンパチ、ウルメイワシ、マサバ、コノシロ、マダイ、クロダイ、コショウダイ、スズキ、シマイサキ、アイゴ、メジナ、ボラ、ウマヅラハギ、カワハギ、タチウオ、キュウセン、ホウボウ、ヒラメ、マコガレイ、シログチ、トビウオ、テンジクダイ、シロギス、アイナメ、オニオコゼ、ハモ、マダコ、コウイカ、シリヤケイカ、ベイカ、クルマエビ、クマエビなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、メバル、カサゴ、キジハタ、マゴチ、キュウセン、ウミタナゴ、アイゴ、ヒラメ、マコガレイ、メイタガレイ、イヌノシタ、マダイ、カワハギ、ウマヅラハギ、オニオコゼ、シマイサキ、ハモ、マダコ、クルマエビ、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>大型定置網では、サワラ、サゴシ、マアジ、マルアジ、マイワシ、カタクチイワシ、マサバ、マダイ、タチウオ、アカカマス、ナゴヤフグ、シログチ、トビウオ、アイゴ、ハモ、シリヤケイカなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では、メイタガレイ、コウライアカシタビラメ、マコガレイ、マアナゴ、ハモ、ネズッポ類、シロギス、オニオコゼ、カサゴ、キュウセン、マダイ、クロダイ、スズキ、セトダイ、コイチ、コノシロ、ウマヅラハギ、マナガツオ、アイナメ、ナシフグ、コモンフグ、イボダイ、ボラ、タチウオ、テンジクダイ、アカエイ、マダコ、コウイカ、カミナリイカ、ベイカ、アカニシ、小エビ類、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、キジハタ、アイナメ、マコガレイ、クロダイ、メバルなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では、メイタガレイ、イヌノシタ、マコガレイ、マダイ、クロダイ、イシダイ、スズキ、シマイサキ、シロギス、アカカマス、マゴチ、ネズッポ類、マルアジ、アイゴ、タチウオ、ハモ、マアナゴ、メバル、カサゴ、ナシフグ、コモンフグ、ウマヅラハギ、マナガツオ、イボダイ、テンジクダイ、アカハゼ、マダコ、シリヤケイカ、ベイカ、トリガイ、ツメタガイ、小エビ類、クマエビ、ガザミ、シヤコなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、キジハタ、カサゴ、メバル、マゴチ、ガザミなどが漁獲されている。</p>
香 川 県 全 域 (サワラ)	<p>さわら流しさし網の春漁は、4月20日から開始され、6月中旬でほぼ終了した。</p> <p>香川県魚市場(株)におけるサワラ銘柄の6月30日までの合計尾数は54,937尾で、平成27年(63,696尾)および26年(90,353尾)より少なかった。サゴシ銘柄の合計尾数は2,847尾で、27年(4,406尾)および26年(4,352尾)の6割程度であった。</p> <p>漁獲状況について報告を受けた6漁協(鴨庄、内海、四海、庵治、観音寺、伊吹)の合計漁獲量は167トンであり、27年(206トン)および26年(244トン)より減少した。近年、この量は県全体の4割程度を占めているので、同様と仮定すると、県全体の漁獲量は420トン程度となる(27年499トン、26年588トン)。</p> <p>漁獲魚の年齢は、2歳と3歳が主体であるが、4歳も比較的多かった。</p>

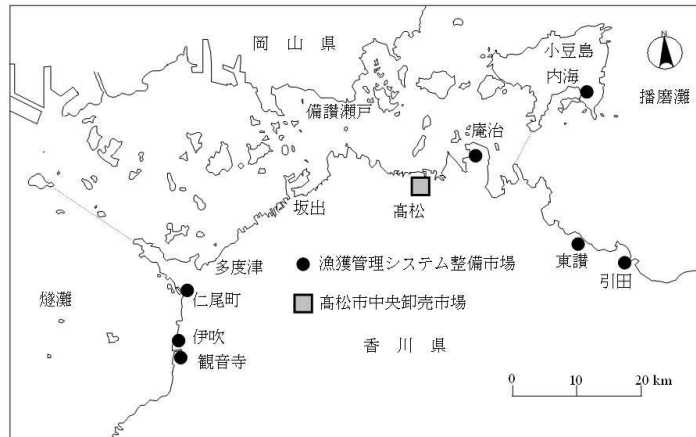
2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理 (TAC) システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした漁獲情報システムで、本県では以下の産地市場に整備している。

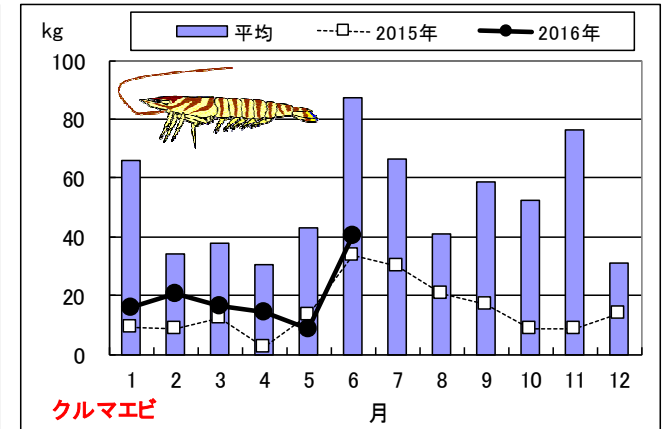
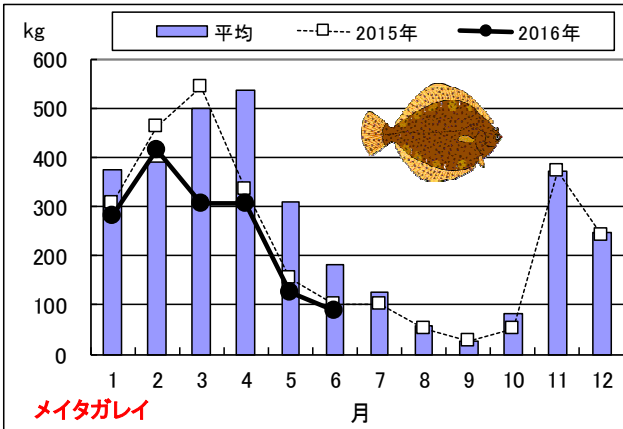
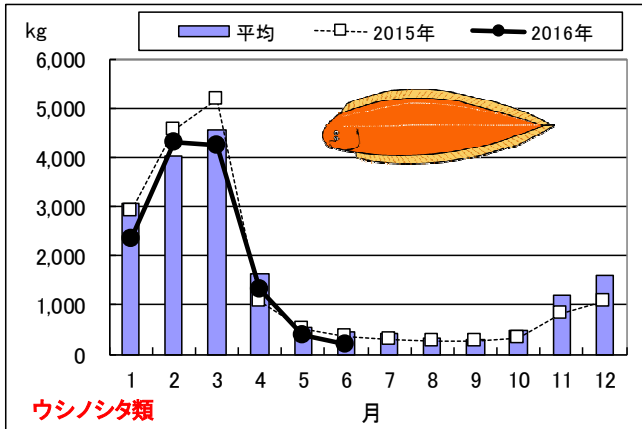
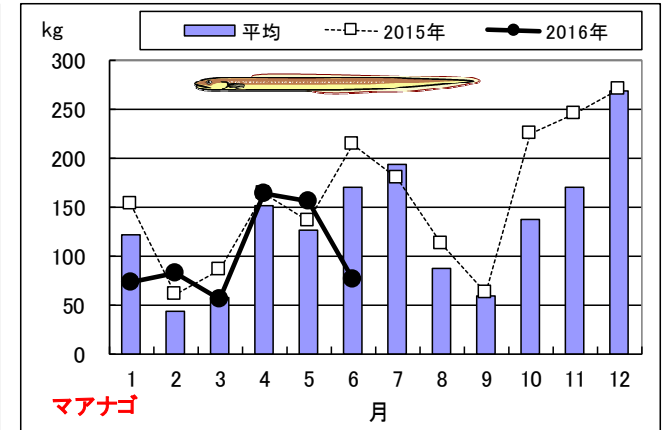
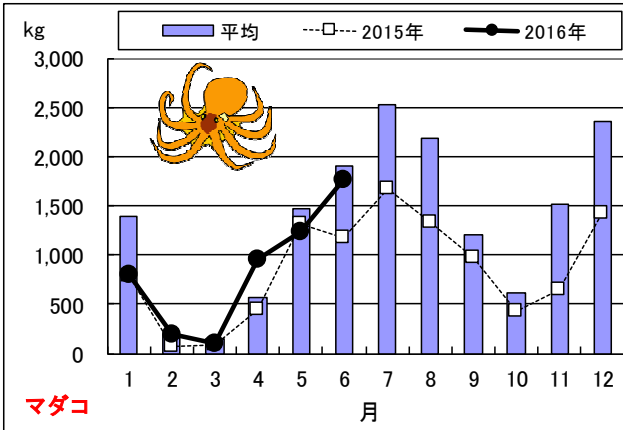
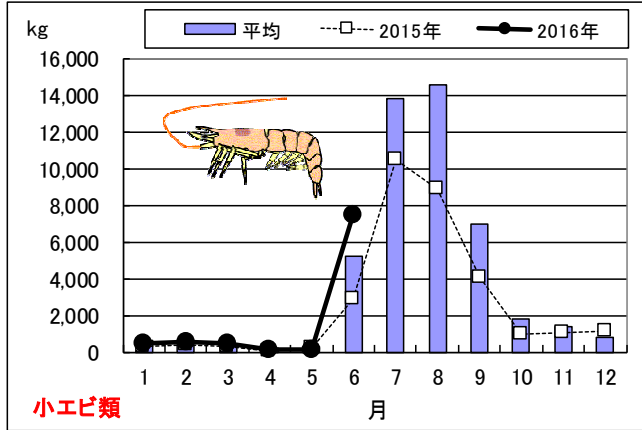
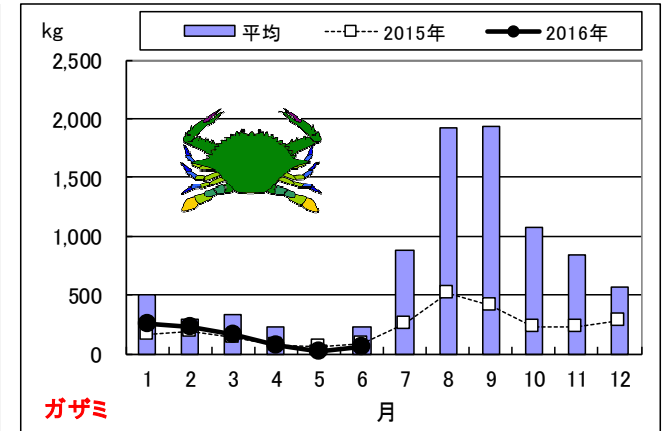
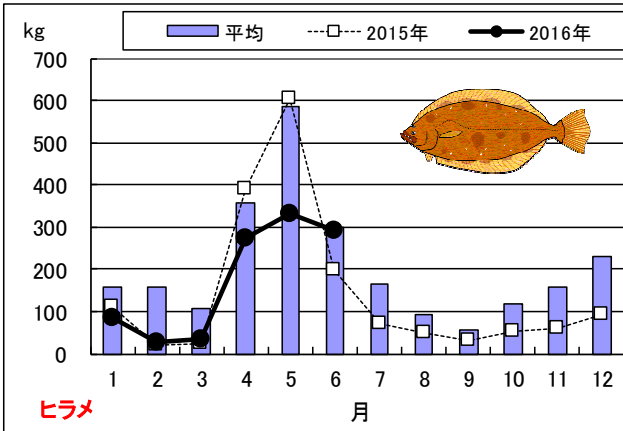
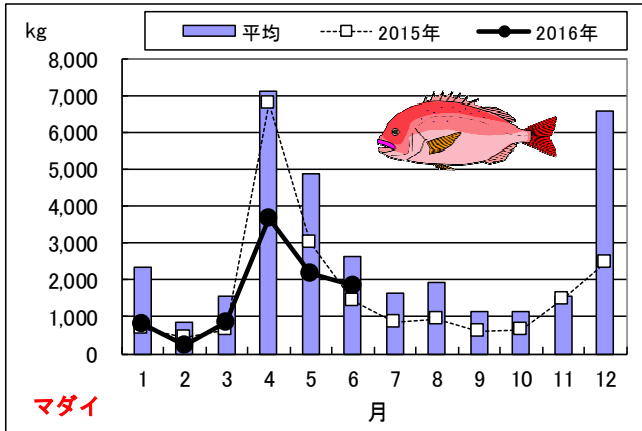
(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物(香川県全体からの集荷物)について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。



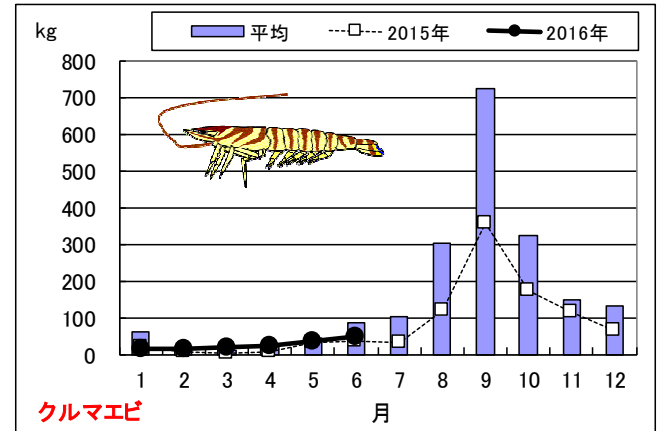
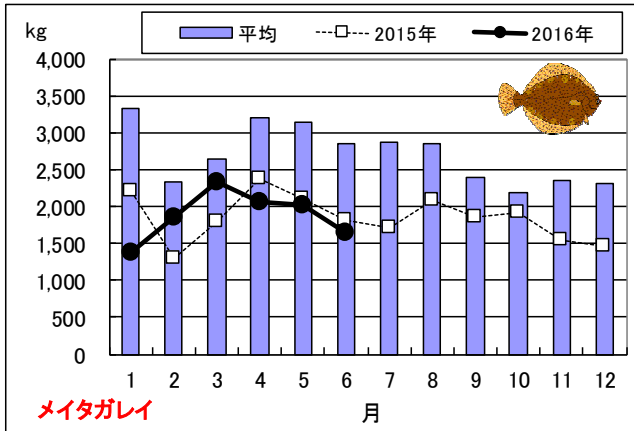
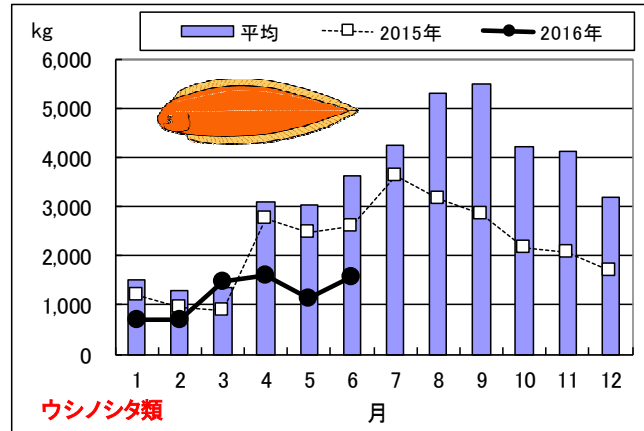
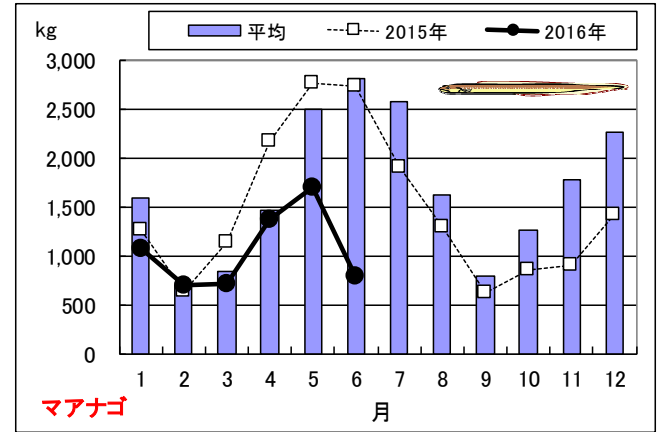
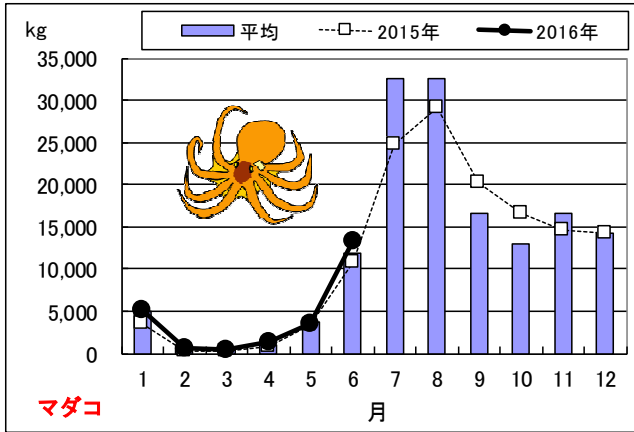
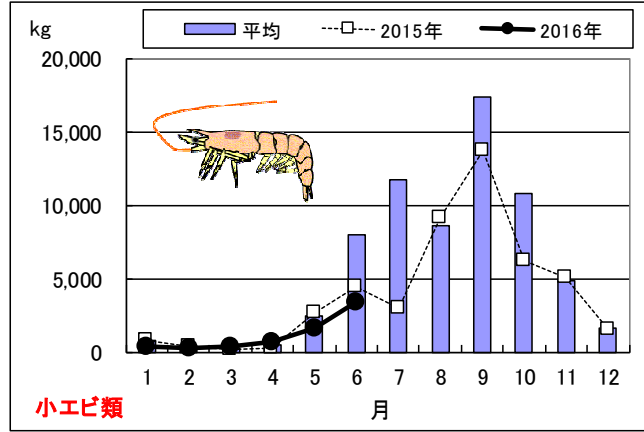
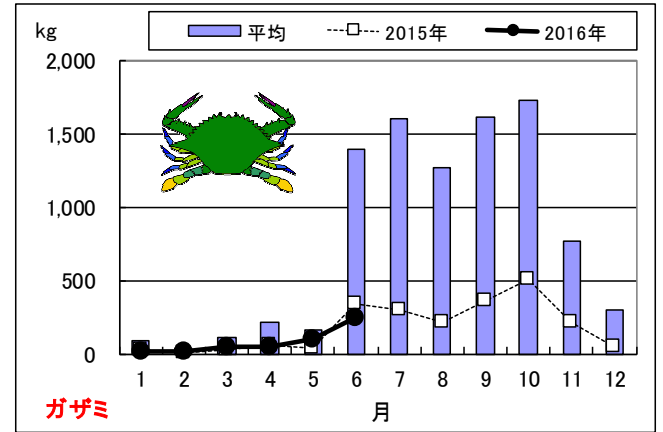
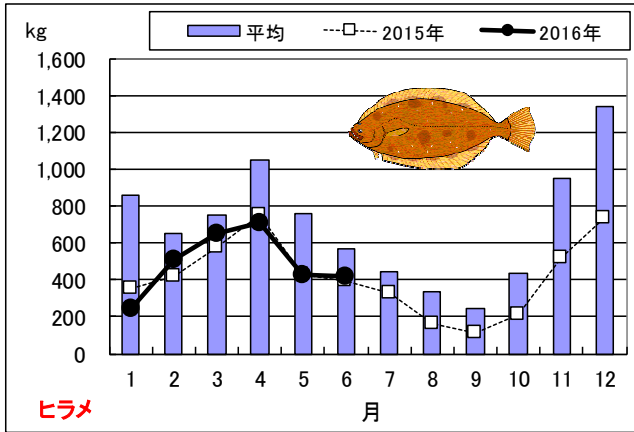
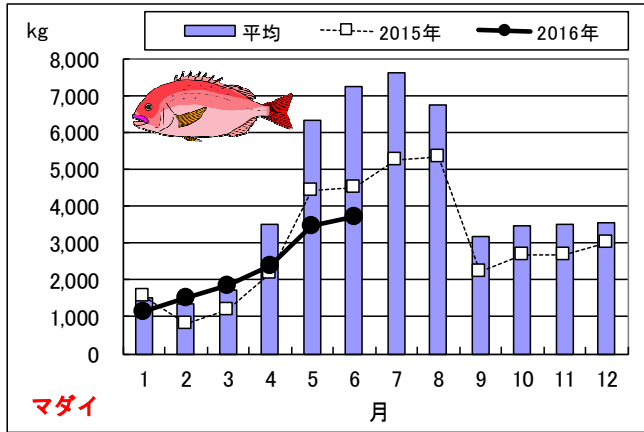
播磨灘（引田+東讃+内海） TACシステムデータより

平均値は、2011年から2015年の5年間の平均。



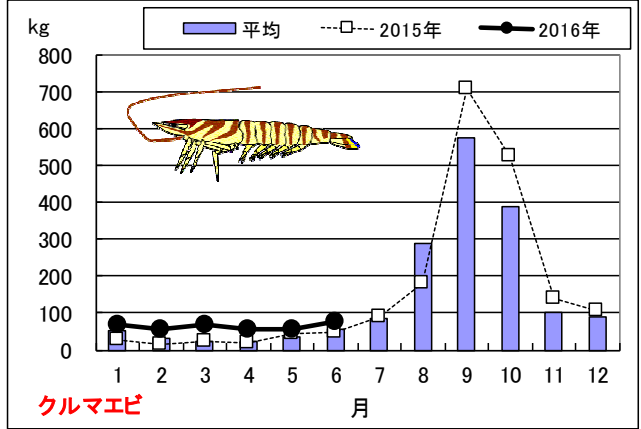
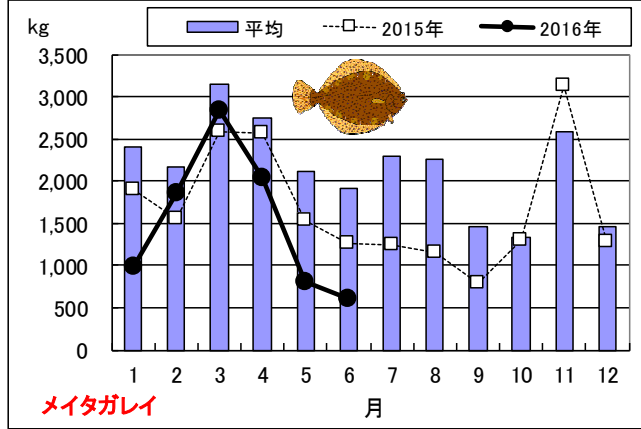
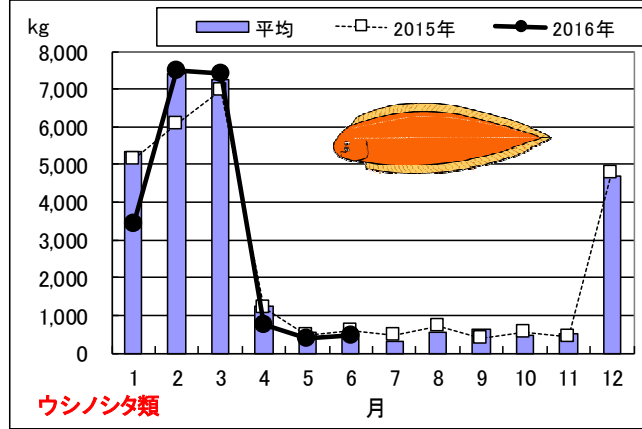
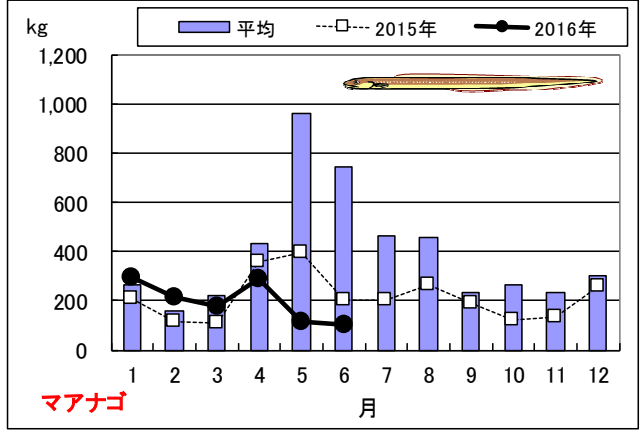
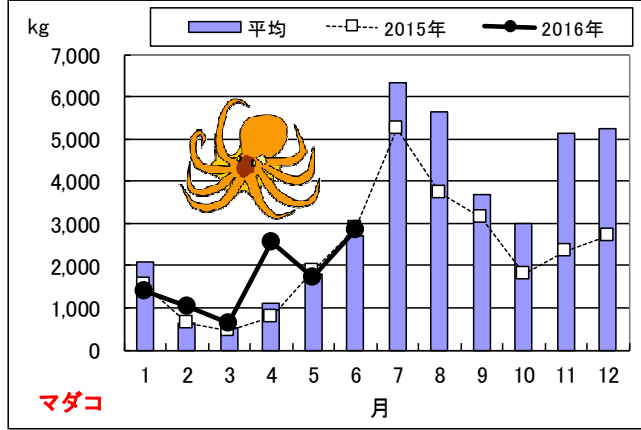
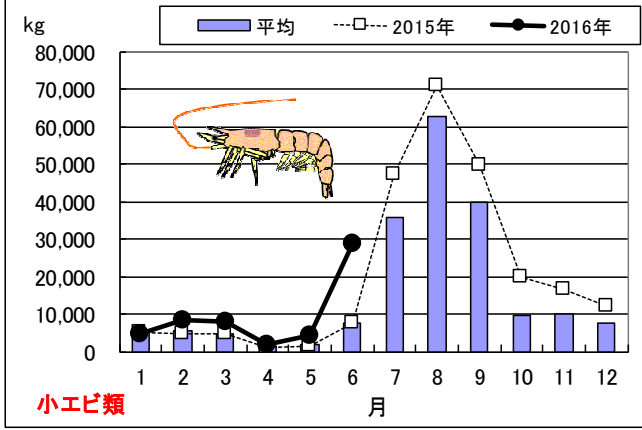
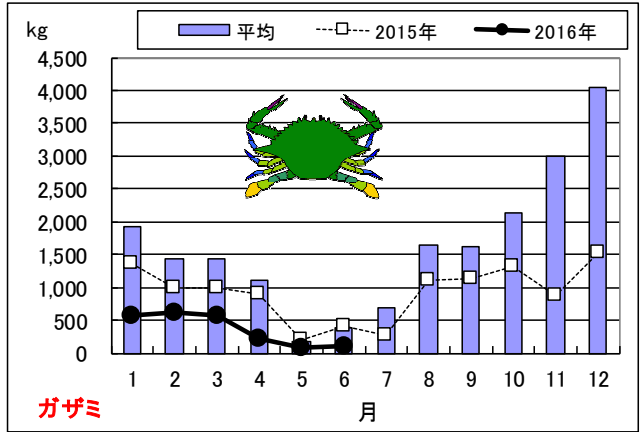
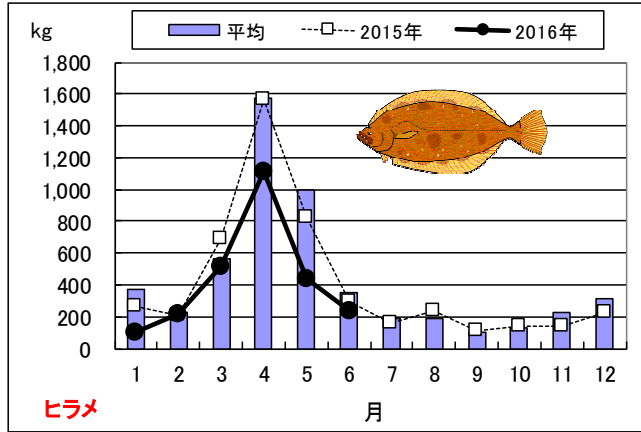
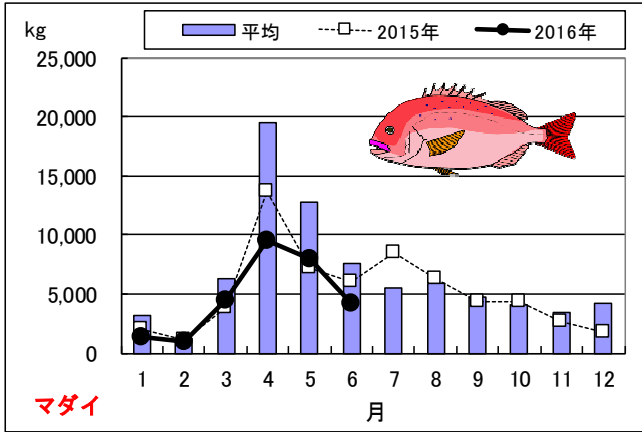
備讃瀬戸（庵治） TACシステムデータより

平均値は、2011年から2015年の5年間の平均。



燧灘（仁尾町+観音寺+伊吹） T A Cシステムデータより

平均値は、2011年から2015年の5年間の平均。



高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

